



学 び 舎 R7

城山小学校だより第23号

令和8年1月13日 文責 荒木 浩雄

新年、あけましておめでとうございます。



令和8年、2026年がスタートしました。1月8日の3学期登校初日、交通指導をしていると、子どもたちから元気のよい挨拶をもらい、うれしい気持ちになりました。校舎内にも子どもたちの明るい元気な声が響き渡り、授業中も真剣に取り組む姿がみられ、新年にかける子どもたちの「やる気」を感じました。

始業式のあいさつでは、より具体的に取り組んで欲しいこととして「落ち葉が落ちているので朝から集めたり、友だちをそっと手伝ったり、物の整理整頓をしたり、毎日の学校生活の中でちょっとした小さなことでも構わないので『よいと思ったことは進んでみましょう』と話しました。このような輪が広がれば「ありがとう」の感謝の気持ちが芽生え、みんなが笑顔で気持ちよく学校生活が送れると思います。自分の周りの仲間、支えてくれるすべての人を大切にできる思いやりのある子どもたちであってほしいと願っています。

保護者の皆様、今年も学校教育活動を行うにあたり様々な面でのご支援、ご協力賜りますようお願いいたします。

たこあげ交流会



1月11日(日)に「三和地区たこあげ交流会」が城山公園グラウンドで開催されました。西部エリアまちづくり事業実行委員会主催、NPO法人スポレク・エイト主管、三和地区自治連合会(池上・城山・高橋)共催で開催され、三和中学校区の小中学生がたくさん参加していました。

たこあげは、お正月の風物詩の一つでもあります。当日は、日光が降り注ぐときもありましたが、冷たい風も吹いていました。そのような中、子どもたちは元気にたこあげをしていました。大きなたこや

小さなたこ、くまモンたこまでたくさんのたこが空高く舞い上がり、子どもたちの笑顔がたくさん見られ、うれしくなりました。他にも中島太鼓やスポレク・エイトダンス発表、ディスクゴルフ(ゴールドジ)交流大会等も行われ、元気いっぱい活動できたようです。このような地域行事は、これからもずっと続いてほしいと願っています。

